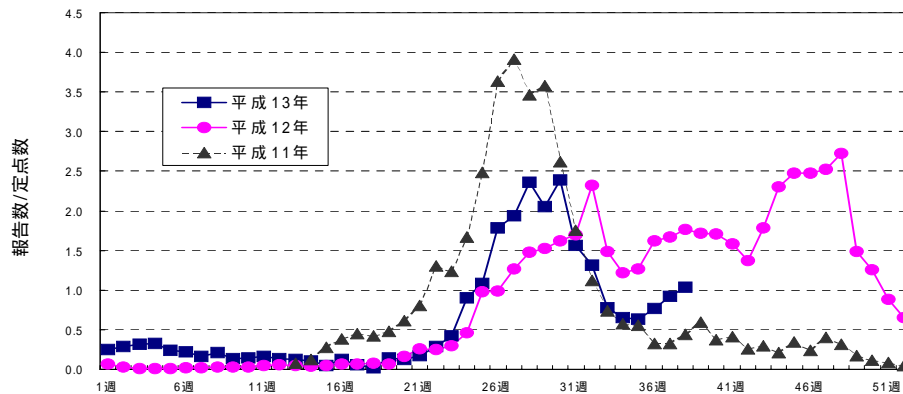


愛知県感染症情報

平成 13 年第 38 週（9 月第 3 週）

（コメント）

手足口病は 3 週続けて増加しています。先生方からのコメントにも報告が見られます。



手足口病（名古屋市を含む。平成 11 年は、13 週（4 月 1 日～）から）

（定点の先生方からのコメント）

- 尾張西部地区
 - ・ 溶連菌感染症多いです。溶連菌感染症と伝染性紅斑の合併例 2 例あり。
ムンプス（ワクチン歴あり）3 歳男
（一宮市 あさのこどもクリニック）
 - ・ 病原性大腸菌 06 5 歳女
（尾西市 城後小児科）
- 尾張東部地区
 - ・ 胃腸炎と手足口病が目立っています。エロモナス属による腸炎が 2 例で見られました。
（犬山市 武内医院）
 - ・ また、ヘルパンギーナ、手足口病がでてきました。
（岩倉市 なかよしこどもクリニック）
 - ・ 流行性耳下腺炎の小流行が続いています。
（江南市 みやぐちこどもクリニック）
 - ・ 溶連菌感染症、流行性耳下腺炎が少し目立つくらいです。
（瀬戸市 津田こどもクリニック）
 - ・ 今週はこれといった感染症流行もなく落ち着いた 1 週間でした。
（尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院）

- ・ 黄色ブドウ球菌感染腸炎 1歳女
Vibrio parahaemolyticus 感染腸炎 (腸炎ビブリオ) 68歳男
(豊明市 豊明団地診療所)
- ・ 水痘数名あり
(小牧市 小牧市民病院)
- ・ 気管支喘息、喘息性気管支炎 今週より急に増えました。
(東海市 ハヤカワ医院)
- 西三河地区
 - ・ カンピロバクター、病原大腸菌 01 8歳女
(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)
 - ・ マイコプラズマ肺炎 6歳男
(豊田市 医療法人やふそ小児科)
 - ・ 8歳男麻疹はワクチン接種児発疹非典型的 H I ×1,024 と上昇。6歳ムンプスはワクチン済み。病原性大腸菌 06 3歳女。病原性大腸菌 025、028ac 6歳男
(岡崎市 花田こどもクリニック)
 - ・ カンピロバクター 6歳男。病原性大腸菌 01 VT1・2(-) 1歳女。サルモネラ 04 2歳男
(岡崎市 にいのみ小児科)
 - ・ サルモネラ菌 04 1歳。病原性大腸菌 VT1・2(-) 3歳
(幸田町 とみた小児科)
 - ・ 5歳女の水痘は、ワクチン接種歴あり。サルモネラ 04 3歳女
(碧南市 永井小児クリニック)
 - ・ 手足口病の兄弟例あり。
(西尾市 やすい小児科)
 - ・ 感染症は全体に目立ちませんが、1日 38~39 熱発のみの小児がパラパラ見られました。
(西尾市 山岸クリニック)
- 東三河地区
 - ・ サルモネラ腸炎 09 1歳男。手足口病流行中。
(豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科)
 - ・ 伝染性紅斑：母が罹患し、関節症状が目立ち、1~2週間後、児に感染。
ムンプス：ワクチン接種例あり。
(田原町 かわせ小児科)

(1 ~ 3 類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌感染症患者 1 名

- ・ 一宮保健所から報告の 12 歳女。9/17 発病、9/17 初診、9/21 診定。
菌型は、O157 VT1・2 (+)。

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

急性ウイルス性肝炎 A 型患者 1 名。

第 36 週 (9 月 3 日 ~ 9 月 9 日) の 4 類感染症の全国状況

流行性耳下腺炎は例年のごとくこの時期には減少傾向がみられているが、過去 10 年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が第 19 週から続いている。都道府県別では石川県 (定点当たり報告数 5.28)、沖縄県 (3.24)、福岡県 (2.40) などからの報告が多い。伝染性紅斑は、オフシーズンの定点当たり報告数としては、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多くなっている。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 34 週以降定点当たり報告数が増加傾向にあり、年末年始の流行期に向け、今後も報告数は増加するものと予想される。マイコプラズマ肺炎は、新体制下でサーベイランスが開始されて以来最も多い定点当たり報告数となっており、今後の流行シーズンを迎えるにあたって疾患の動向が注目される。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)